

平成 17 年

# 釧路市の水産

釧路市水産課

## 発刊にあたって

この年報は、平成 17 年に釧路市設魚揚場で取扱われた水産物の販売記録に基づいて作成したものであります。

北洋漁業の国際規制が厳しい中で操業された生産記録として、諸施策に当たり基礎資料として役立てば幸いであります。

最後に、この年報作成にご協力賜りました釧路魚市場株式会社並びに釧路市漁業協同組合関係者各位に深く感謝の意を表すと共に今後一層のご指導をお願い申し上げます。

釧路市水産農林部水産課

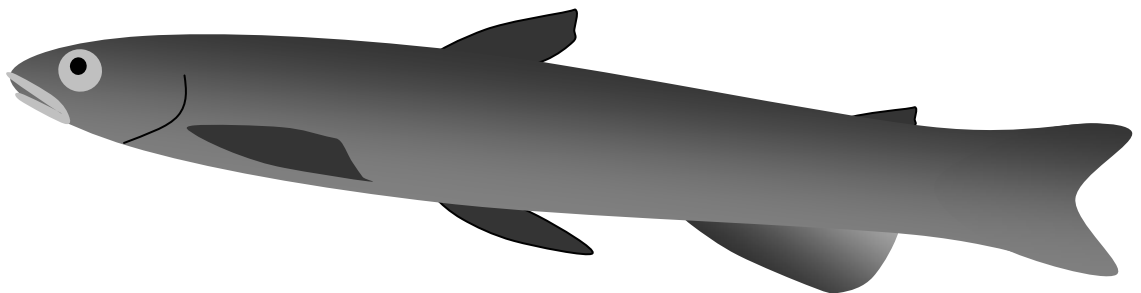


# 「釧路市の水産」

釧路市の水産業を紹介しているホームページです。

水産業の歴史・岸壁の様子・最新水産情報等を紹介しております。ぜひご覧下さい！！

<http://www.suisan-kushiro.com/>

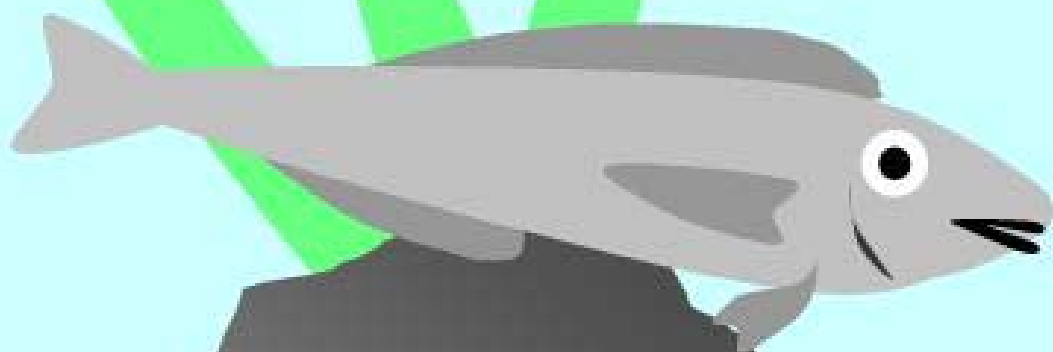


企画・製作 釧路市水産業  
対策協議会

## 利用上の注意

- 1 . 取扱いに関するデータは、全て釧路市設魚揚場にて開設されている地方卸売市場の販売記録に基づいたものである。
- 2 . 船籍の区分は、釧路支庁管内に船籍を有するものを地元船、それ以外のものは外来船とした。
- 3 . 魚種名は、当地方での通称に従っている。例として「きんきん・目抜」は主として「おおさが」・「ばらめぬけ」を指す。
- 4 . 小型さけ・ます漁業の取扱いは、春鮭鱒(小型船流し網と延縄)によるものである。
- 5 . いか漁業船凍品の取扱いは日本近海海域によるものである。
- 6 . その他漁業欄には、移入物、搬入物なども含まれている。
- 7 . 移入物とは、釧路支庁管内を除く他から地方卸売市場に持ち込まれ取扱われた鮮魚介類と塩干加工品(ただし、塩干加工品については釧路支庁管内を含む)及び輸入物、洋上買魚による取扱いである。
- 8 . 洋上買魚とは、加工船や冷凍船が漁獲物を直接ロシア等から海上で買いつけることである。
- 9 . 搬入物とは、釧路支庁管内から地方卸売市場に持ち込まれ取扱いされた鮮魚介類である。
- 10 . 平成元年4月分から「取扱い金額」に消費税を含めている(平成9年3月まで3%、平成9年4月以降5%)。

くしろの海のさかながいるよ  
ホッケ、カレイにマズイ  
みんなぼくらをみにきてね



MOO  
魚水族園

# 目次

平成17年 釧路市の水産		頁
平成17年釧路港水揚げ概況		
	平成17年概況	1
(図 - 1)	市設魚揚場開設以来取扱数量・金額の推移	2
(図 - 2)	5ヶ年(平成13～17年) 主要漁業別取扱の推移	3
(図 - 3, 図 - 4)	5ヶ年(平成13～17年) 主要漁業別取扱の構成(%)	4
(図 - 5)	5ヶ年(平成13～17年) 地元・外来別取扱の構成(%)	5
(図 - 6, 図 - 7)	平成17年 主要漁業地元・外来別取扱の構成(%)	6
(図 - 8, 図 - 9)	平成17年 主要漁業別取扱の構成割合(%)	7
(図 - 10, 図 - 11)	平成17年 主要魚種別取扱の構成割合(%)	8
(図 - 12)	5ヶ年(平成13～17年) 主要漁業平均単価の推移	9
(図 - 13)	5ヶ年(平成13～17年) 月別取扱の比較	10
(図 - 14)	平成17年 漁業別取扱高の前年比較	11
(図 - 15, 図 - 16)	平成17年 全国主要港水揚げ状況	12
(図 - 17)	主要漁業漁場図	13
(図 - 18, 図 - 19, 図 - 20)	日口漁業漁獲割当の推移	14
平成17年市場取扱高		
	1. 魚種別漁業別取扱高	17
	2. 漁業別月別取扱高	21
	3. 魚種別月別取扱高	24
	4. 漁業別県別取扱高	27
	5. 漁業別月別販売のべ隻数	32
	6. 沖合底曳網漁業 魚種別月別取扱高	33
	7. 遠洋底曳網漁業(北転船) 魚種別月別取扱高	36
市場取扱高の推移		
	1. 市設魚揚場開設以来の市場別取扱高	39
	2. 20ヶ年(昭和61年～平成17年) 月別取扱高	41
	3. 20ヶ年(昭和61年～平成17年) 漁業別取扱高	43
	4. 20ヶ年(昭和61年～平成17年) 魚種別取扱高	47
	釧路市設魚揚場構内図	52
流通加工		
	水産加工従業員数の推移(平成7～17年)	53
	水産加工品生産高の推移(平成13～17年)	54
	17年 水産加工生産高構成比グラフ	55
	水産加工品生産高推移グラフ	56
	製氷実績(平成16・17年)	57
	市内水産加工場設備能力(平成17年)	58
	加工業者一覧表	59
釧路水産業の沿革		63

**・平成 17 年**

**水揚げ概況**

# 平成 17 年 概 況

平成 17 年の釧路港への水揚げは、数量で 11 万 4 千トン(前年 15 万 5 千トン)、金額は 119 億 1 千万円(前年 142 億 4 千万円)となり、前年と比較して数量は 4 万 1 千トン減、金額は 20 億 3 千万円減少した。

水揚げ全国順位は、数量で 11 位(前年 4 位)、金額で 15 位(前年 15 位)であった。

## (遠洋底曳網漁業)

数量で 4 千トン(前年 5 千トン)、金額で 5 億 4 千万円(前年 7 億 4 千万円)と、前年を下回った。

## (沖合底曳網漁業)

平成 17 年については、天候不順等による、出漁日数の減少が響き、数量で 5 万 3 千トン(前年 6 万 7 千トン)、金額で 43 億 1 千万円(前年 39 億 7 千万円)と、数量は前年より減少したが金額では増加となった。

## (さけます漁業)

前年に続き、ロシア 200 海里内で操業する、中型船の漁業条件(入漁料、漁獲枠、操業海区等)を決める日ロ民間交渉が難航した結果、操業期間の短縮等による影響で、数量で 8 百トン(前年 9 百トン)金額で 6 億 4 千万円(前年 8 億 9 千万円)と前年を下回った。

しかし、日本 200 海里内で操業する小型船は数量・金額ともに前年を若干上回った。

## (まき網漁業)

17 年は前年に引き続きカタクチイワシの来遊による操業を行ったが、カタクチイワシは数量で 2 千トン(前年 3 万 2 千トン)、金額で 4 千 3 百万円(前年 5 億 1 千 5 百万円)となり、大幅な減少となった。サバの約 30 年ぶりの漁獲で数量 3 千 3 百トン、金額で 7 千 8 百万円と明るい兆しが見えるも、全体で数量 5 千 6 百トン(前年 3 万 2 千トン)、金額で 1 億 2 千万円(前年 5 億 1 千 5 百万円)と大幅な減少となった。

## (さんま棒受網漁業)

数量で 2 万 7 千トン(前年 2 万 1 千トン)と前年を上回ったが、大型のさんまの豊漁で金額が低迷し 19 億円(前年 27 億円)と前年を下回った。

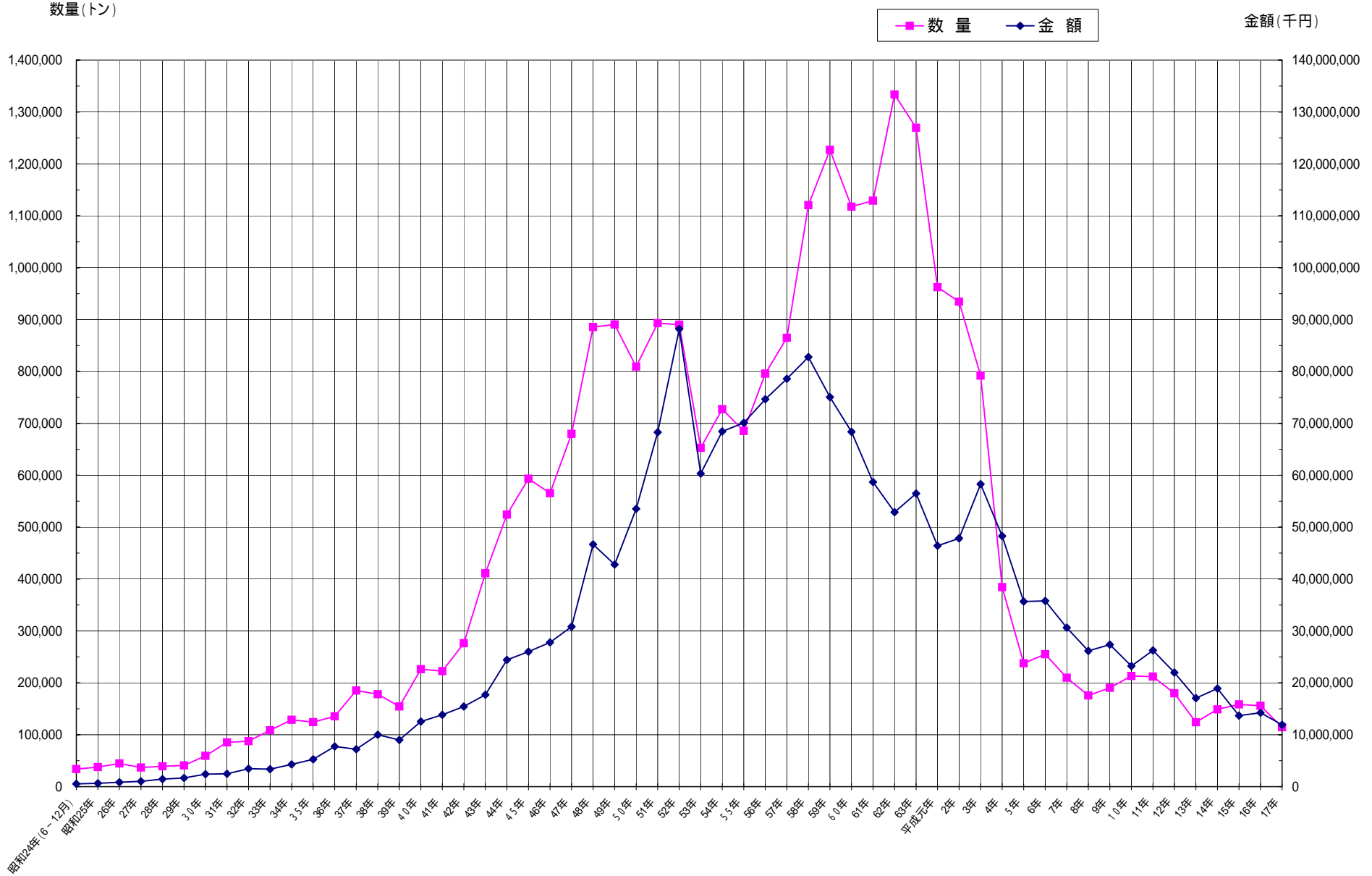
## (いか釣り漁業)

不漁であった前年に比べ、数量・金額両方で前年を大きく上回った。

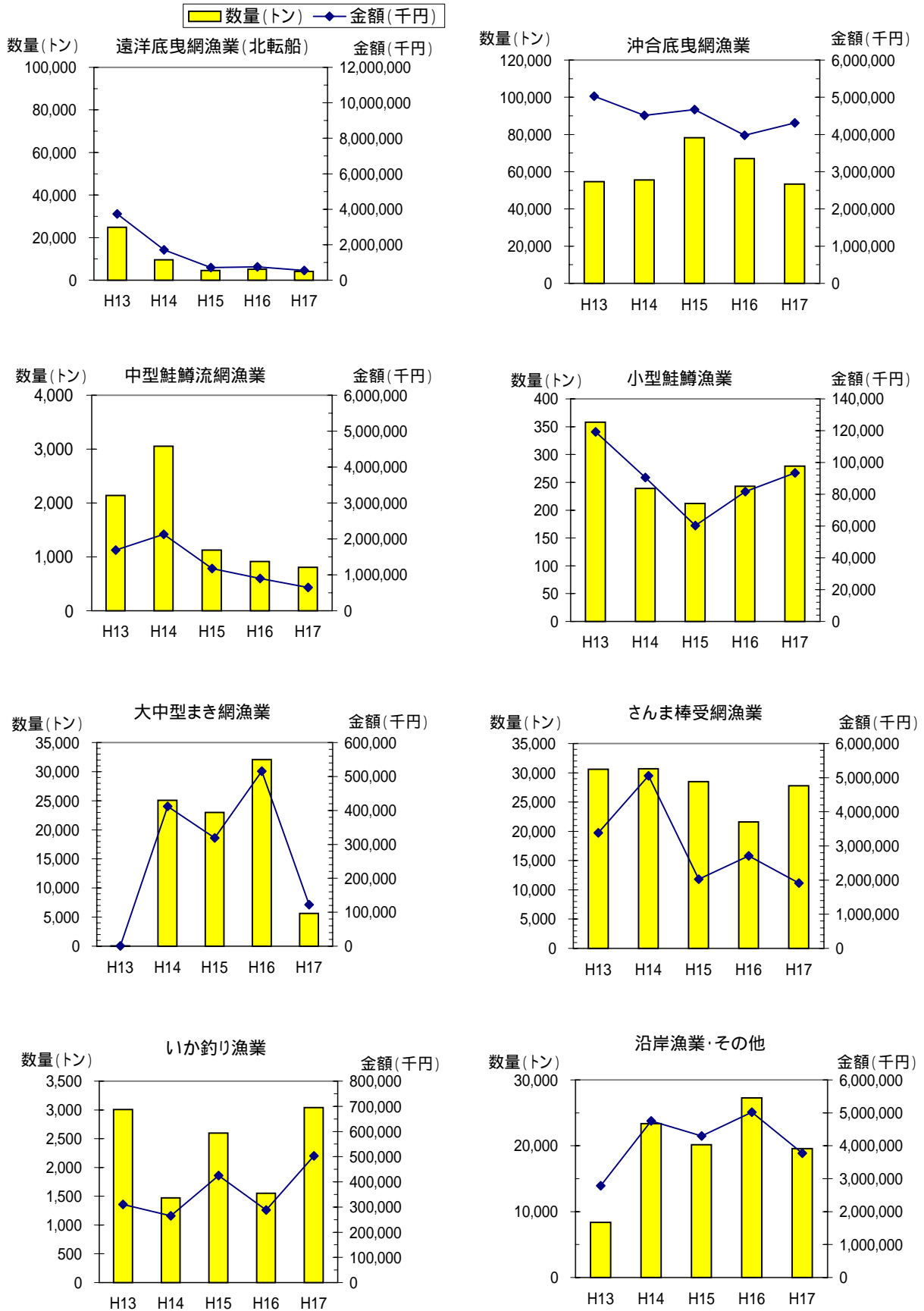
## (沿岸漁業・その他)

数量、金額共に前年を大きく下回った。

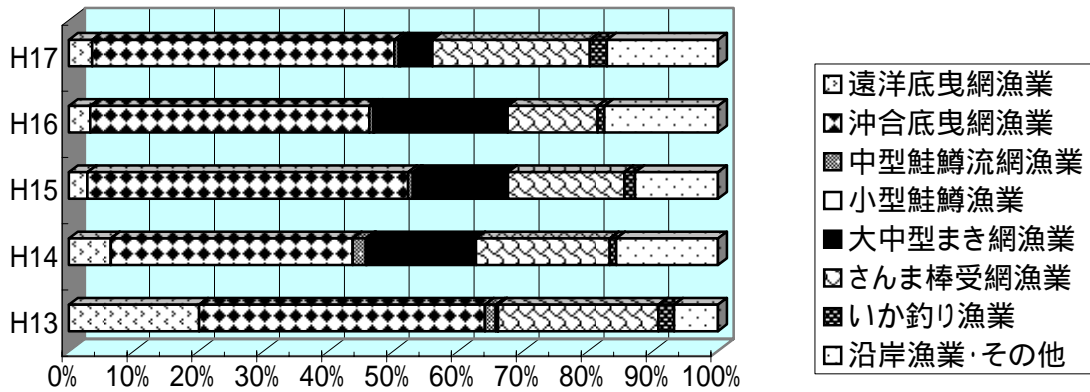
(図 - 1) 市設魚揚場開設以来取扱数量・金額の推移



(図-2) 5ヶ年(平成13~17年)主要漁業別取扱高の推移

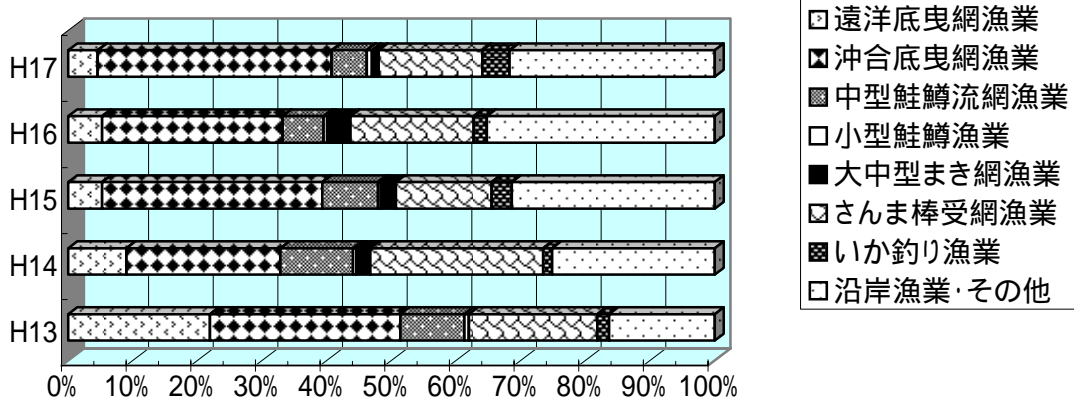


(図 - 3) 5ヶ年(平成13~17年)漁業別取扱数量の構成(%)



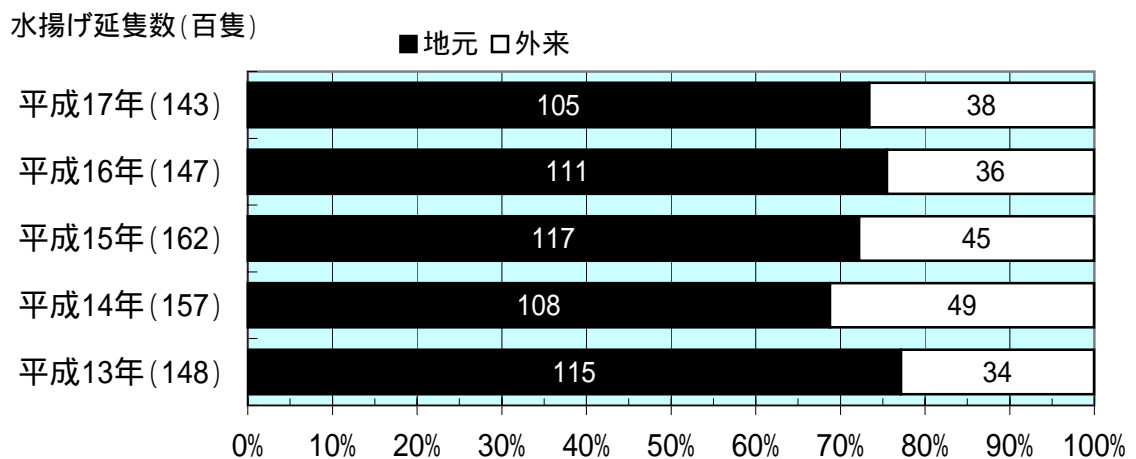
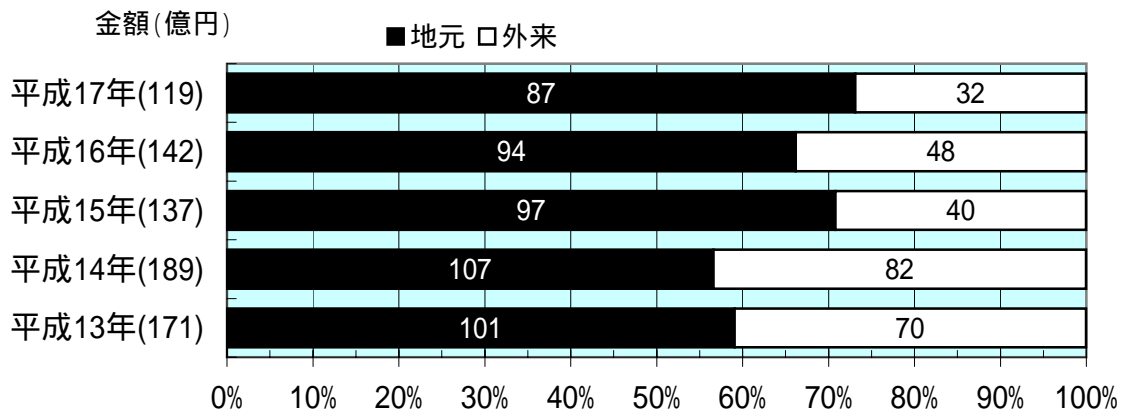
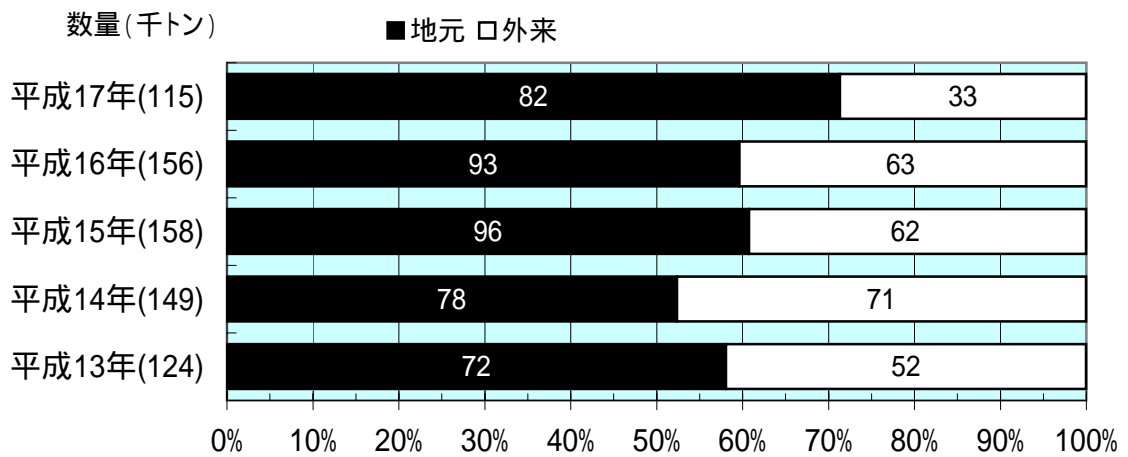
数量(%)	遠洋底曳網漁業	沖合底曳網漁業	中型鮭鱒流網漁業	小型鮭鱒漁業	大中型まき網漁業	さんま棒受網漁業	いか釣り漁業	沿岸漁業・その他
平成17年 11万4千ト	3.6%	46.6%	0.7%	0.2%	4.9%	24.3%	2.7%	17.1%
平成16年 15万5千ト	3.3%	43.0%	0.6%	0.2%	20.6%	13.9%	1.0%	17.5%
平成15年 15万8千ト	2.9%	49.4%	0.7%	0.1%	14.5%	18.0%	1.6%	12.7%
平成14年 14万9千ト	6.4%	37.3%	2.1%	0.2%	16.8%	20.6%	1.0%	15.7%
平成13年 12万4千ト	20.1%	44.0%	1.7%	0.3%	0.0%	24.7%	2.4%	6.7%

(図 - 4) 5ヶ年(平成13~17年)漁業別取扱金額の構成(%)



金額(%)	遠洋底曳網漁業	沖合底曳網漁業	中型鮭鱒流網漁業	小型鮭鱒漁業	大中型まき網漁業	さんま棒受網漁業	いか釣り漁業	沿岸漁業・その他
平成17年 119億円	4.6%	36.2%	5.4%	0.8%	1.0%	16.1%	4.2%	31.7%
平成16年 142億円	5.3%	27.9%	6.3%	0.6%	3.6%	19.0%	2.0%	35.3%
平成15年 137億円	5.2%	34.1%	8.6%	0.4%	2.3%	14.8%	3.1%	31.4%
平成14年 189億円	9.0%	23.8%	11.2%	0.5%	2.2%	26.7%	1.4%	25.1%
平成13年 171億円	21.9%	29.5%	9.9%	0.7%	0.0%	19.9%	1.8%	16.3%

(図 - 5) 5ヶ年(平成13～17年)地元・外来別取扱の構成(%)

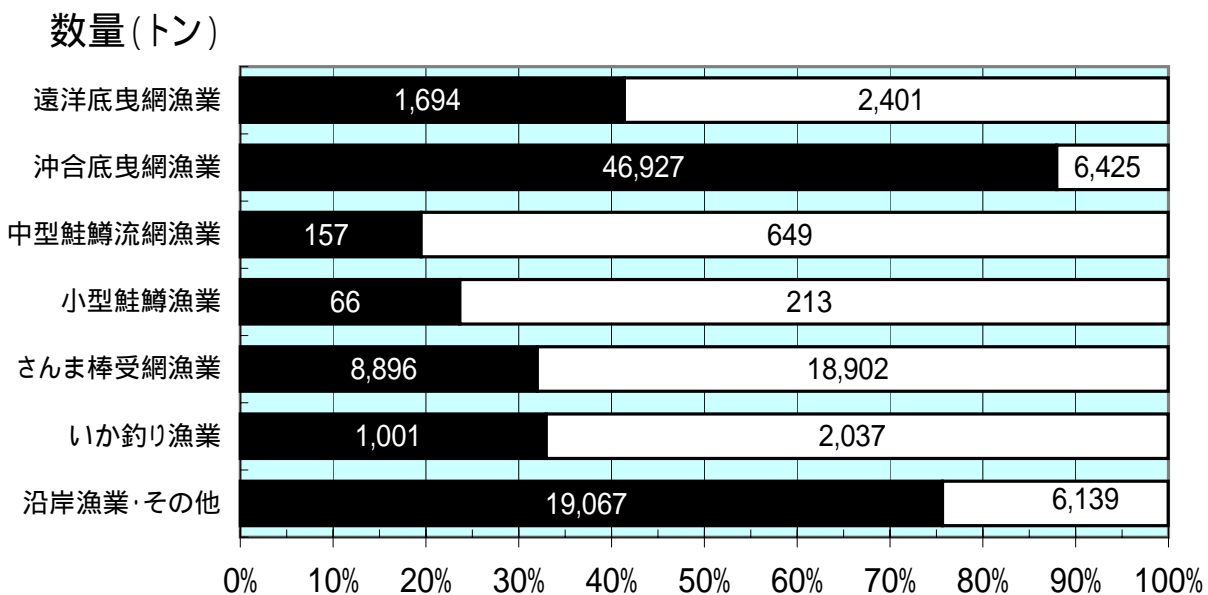


数量(%)	地元	外来	金額(%)	地元	外来	隻数(%)	地元	外来
平成17年	71%	29%	平成17年	73%	27%	平成17年	73%	27%
平成16年	60%	40%	平成16年	71%	34%	平成16年	76%	24%
平成15年	61%	39%	平成15年	71%	29%	平成15年	72%	28%
平成14年	52%	48%	平成14年	57%	43%	平成14年	69%	31%
平成13年	58%	42%	平成13年	59%	41%	平成13年	77%	23%

(図 - 6 , 図 - 7) 平成17年主要漁業 地元・外来別取扱の構成 (%)

(図 - 6)

■ 地元 □ 外来

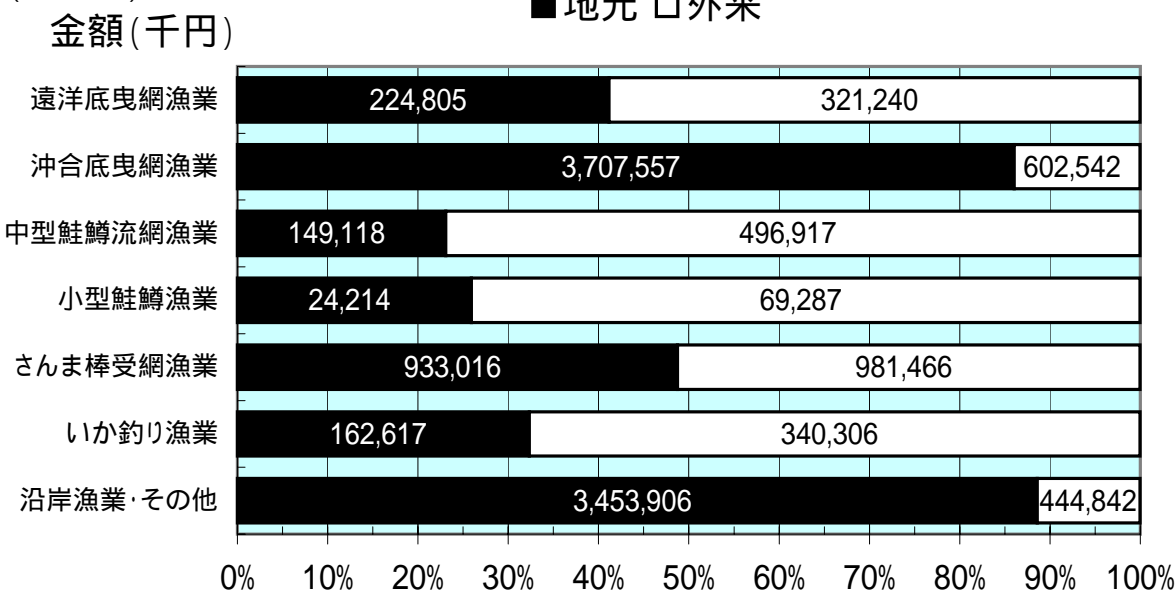


数量 (%)	地元	外来
遠洋底曳網漁業	41.4%	58.6%
沖合底曳網漁業	88.0%	12.0%
中型鮭鱒流網漁業	19.5%	80.5%
小型鮭鱒漁業	23.7%	76.3%
さんま棒受網漁業	32.0%	68.0%
いか釣り漁業	33.0%	67.0%
沿岸漁業・その他	75.6%	24.4%

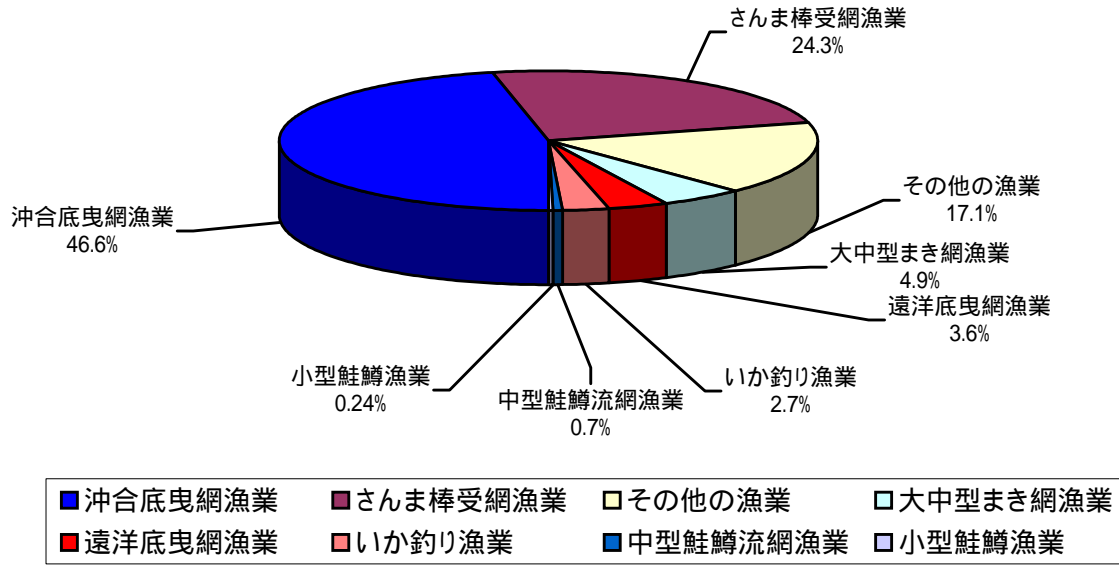
金額 (%)	地元	外来
遠洋底曳網漁業	41.2%	58.8%
沖合底曳網漁業	86.0%	14.0%
中型鮭鱒流網漁業	23.1%	76.9%
小型鮭鱒漁業	25.9%	74.1%
さんま棒受網漁業	48.7%	51.3%
いか釣り漁業	32.3%	67.7%
沿岸漁業・その他	88.6%	11.4%

(図 - 7)

■ 地元 □ 外来



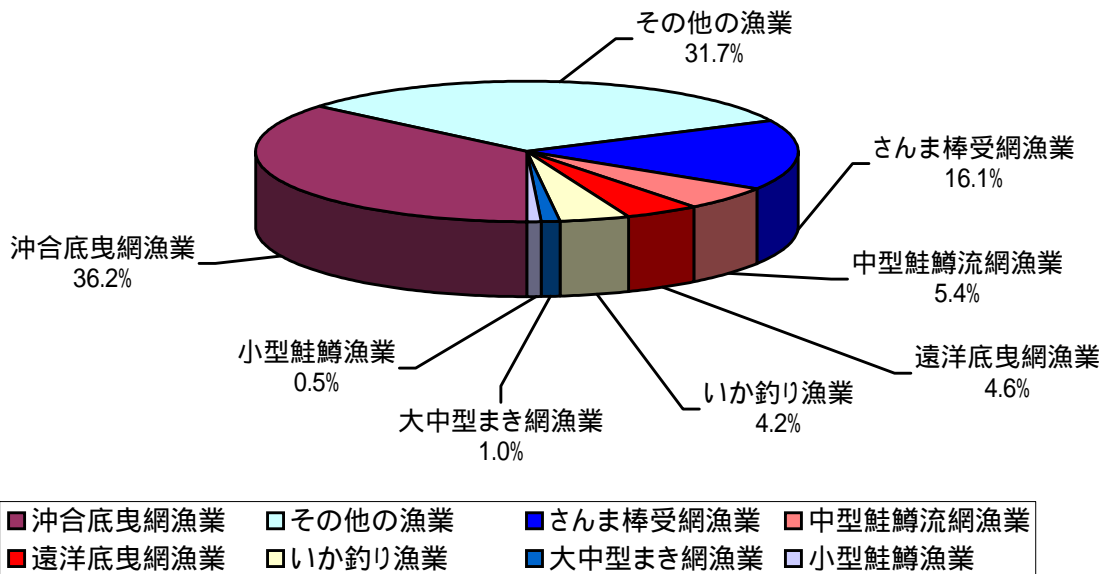
(図 - 8) 平成17年漁業別取扱数量構成割合 (%)



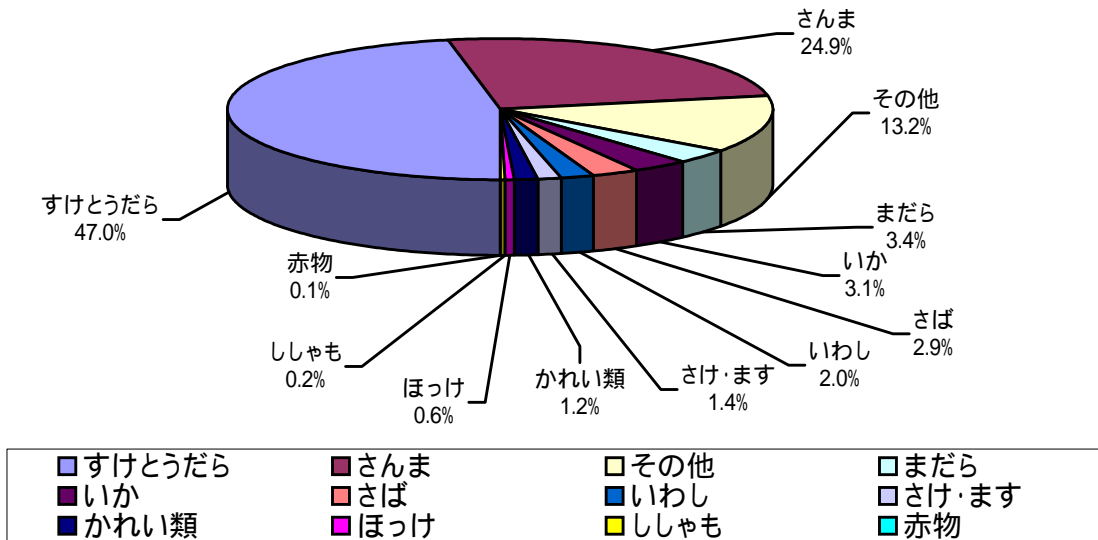
漁業別	数量(トン)
沖合底曳網漁業	53,352
さんま棒受網漁業	27,798
その他の漁業	19,564
大中型まき網漁業	5,643
遠洋底曳網漁業	4,095
いか釣り漁業	3,039
中型鮭鱒流網漁	806
小型鮭鱒漁業	279
合計	114,576

漁業別	金額(千円)
沖合底曳網漁業	4,310,099
その他の漁業	3,776,519
さんま棒受網漁業	1,914,482
中型鮭鱒流網漁	646,035
遠洋底曳網漁業	546,045
いか釣り漁業	502,922
大中型まき網漁業	122,231
小型鮭鱒漁業	93,501
合計	11,911,834

(図 - 9) 平成17年漁業別取扱金額構成割合 (%)



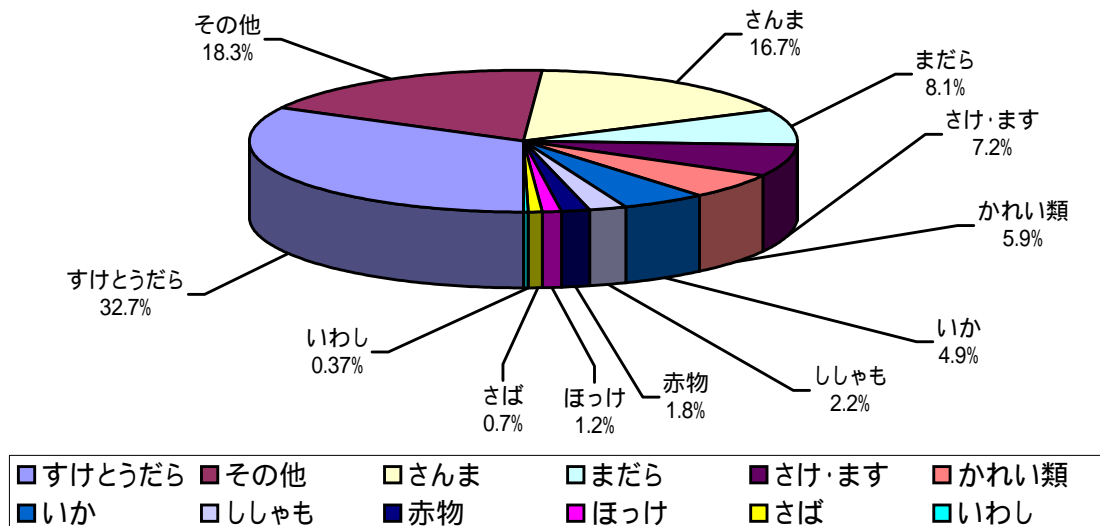
(図 10) 平成17年魚種別取扱数量構成割合 (%)



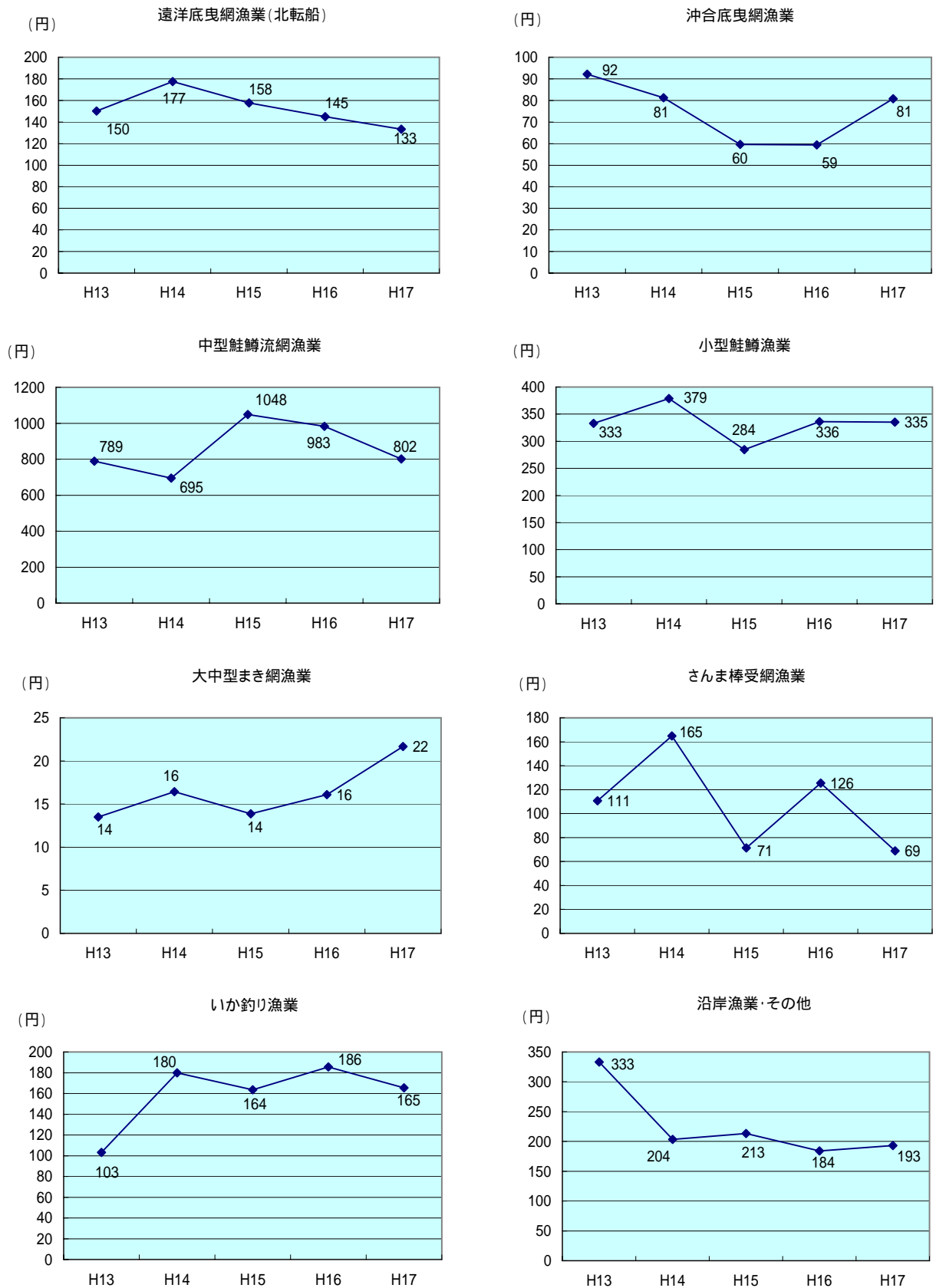
漁種別	数量(トン)
すけとうだら	53,812
さんま	28,525
その他	15,091
まだら	3,869
いか	3,601
さば	3,364
いわし	2,280
さけ・ます	1,579
かれい類	1,345
ほっけ	741
ししゃも	252
赤物	117
合計	114,576

漁種別	金額(千円)
すけとうだら	3,896,699
その他	2,181,457
さんま	1,985,503
まだら	966,493
さけ・ます	856,075
かれい類	705,162
いか	587,517
ししゃも	257,030
赤物	212,501
ほっけ	140,827
さば	78,815
いわし	43,755
合計	11,911,834

(図 11) 平成17年魚種別取扱金額構成割合 (%)

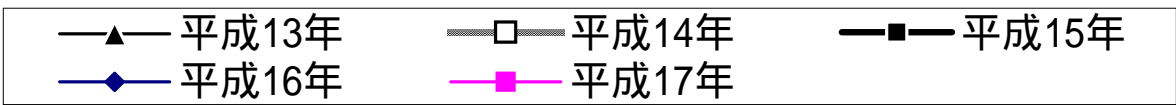
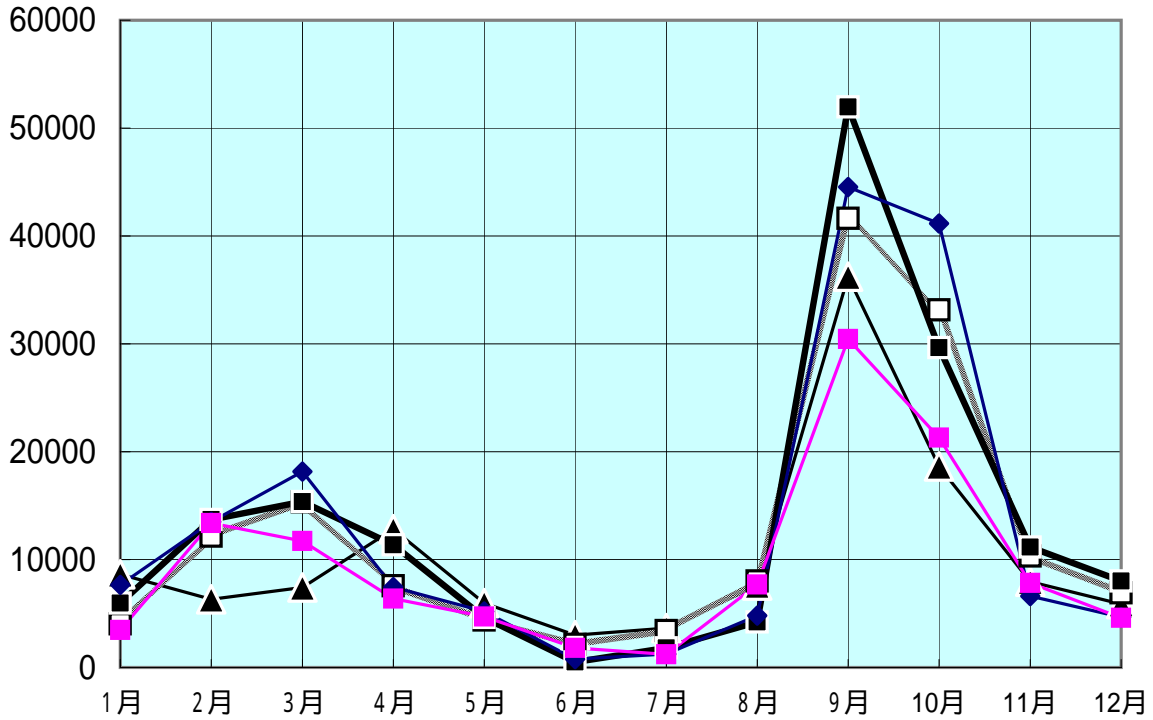


(図 - 12) 5ヶ年(平成13～17年)主要漁業別平均単価の推移

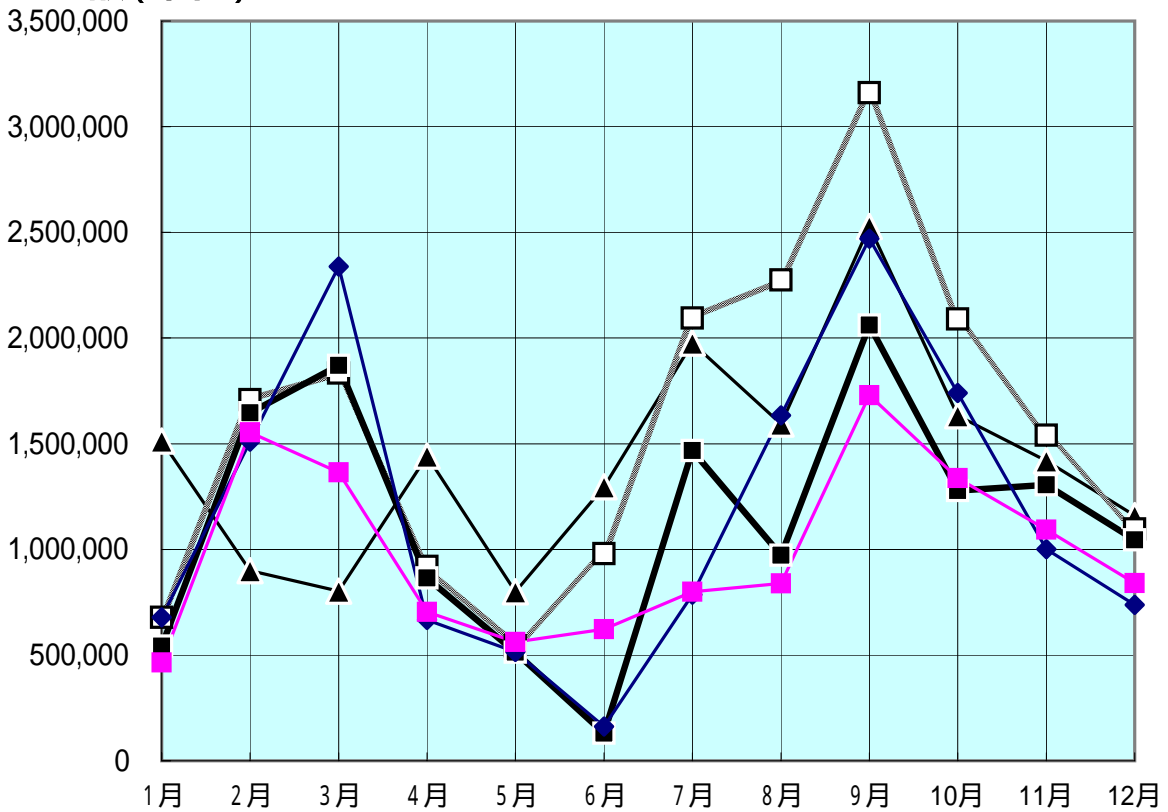


(図 - 13) 5ヶ年(平成13～17年)月別取扱高の比較

数量(トン)



金額(千円)



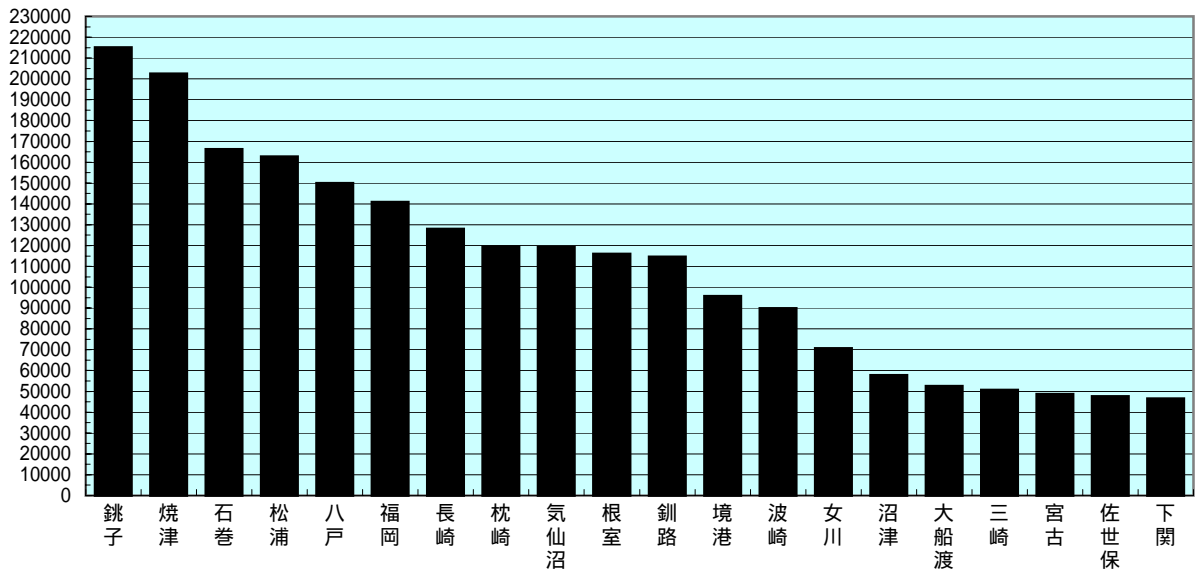
(図 - 14) 漁業別取扱高の前年対比

単位(トン, 千円)

区 分	平成17年		平成16年		増 減		平均単価(t/円)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	17年	16年
1 遠洋底曳網漁業(北転船)	4,095	546,045	5,160	747,795	1,065	201,750	133	145
2 沖合底曳網漁業	53,352	4,310,099	66,987	3,977,702	13,635	332,397	81	59
3 中型鮭鱒流網漁業	806	646,035	913	897,804	107	251,769	802	983
4 小型鮭鱒漁業	279	93,501	243	81,670	36	11,831	335	336
5 大中型まき網漁業	5,643	122,231	32,064	515,483	26,421	393,252	22	16
6 さんま棒受網漁業	27,798	1,914,482	21,594	2,710,360	6,204	795,878	69	126
7 いか釣り漁業	3,039	502,922	1,553	288,317	1,486	214,605	165	186
8 さけ定置網漁業	452	108,290	517	102,799	65	5,491	240	199
9 えび桁網漁業	778	263,220	597	180,445	181	82,775	338	302
10 たら刺網漁業	1,041	396,005	622	190,021	419	205,984	380	306
11 すけそう刺網漁業	45	4,962	0	0	45	4,962	110	0
12 かれい刺網漁業	563	209,230	710	321,142	147	111,912	372	452
13 目抜刺網漁業	7	2,639	3	767	4	1,872	377	256
14 かにかご漁業	6	13,605	4	11,132	2	2,473	2,268	2,783
15 つぶかご漁業	383	83,526	253	50,182	130	33,344	218	198
16 ししゃも桁網漁業	416	279,303	465	382,495	49	103,192	671	823
17 あいなめかご漁業	224	58,306	130	40,337	94	17,969	260	310
18 北洋たら延縄刺網漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
19 その他漁業	15,649	2,357,433	23,967	3,741,501	8,318	1,384,068	151	156
合 計	114,576	11,911,834	155,782	14,239,952	41,206	2,328,118	104	91

(図 - 15) 平成17年 全国主要港水揚げ状況(数量)

(トン)



平成17年 全国主要港水揚げ数量(トン)

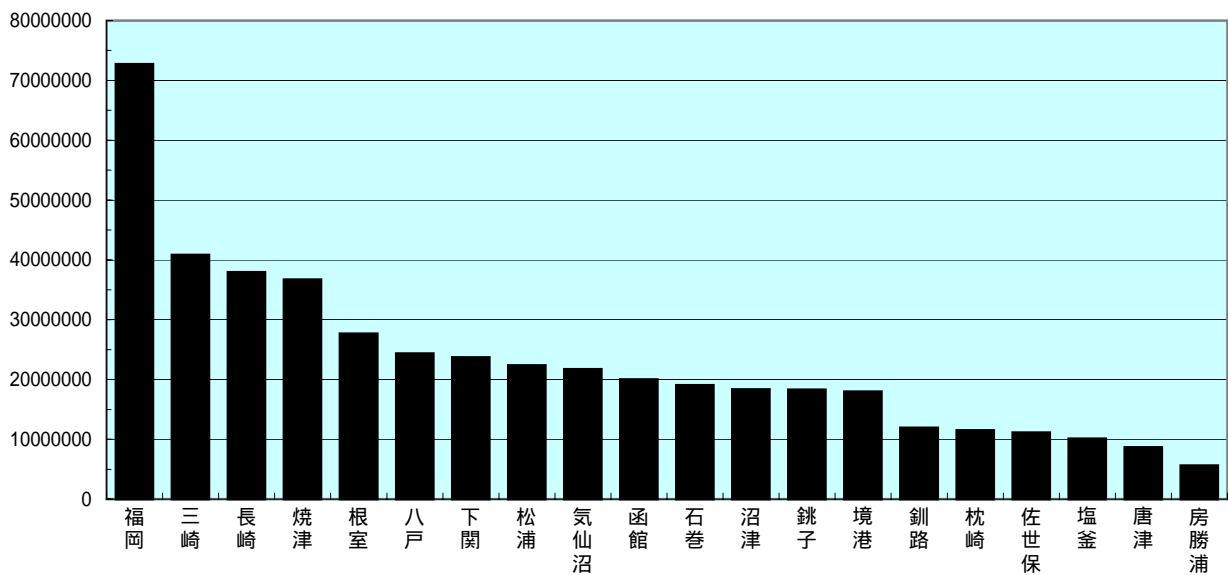
1	銚子	215,071	11	釧路	114,576
2	焼津	202,572	12	境港	95,687
3	石巻	166,175	13	波崎	89,872
4	松浦	162,730	14	女川	70,666
5	八戸	149,900	15	沼津	57,754
6	福岡	140,880	16	大船渡	52,583
7	長崎	128,030	17	三崎	50,742
8	枕崎	119,506	18	宮古	48,748
9	気仙沼	119,162	19	佐世保	47,672
10	根室	115,983	20	下関	46,557

平成17年 全国主要港水揚げ金額(千円)

1	福岡	72,728,994	11	石巻	19,024,729
2	三崎	40,807,203	12	沼津	18,339,568
3	長崎	37,966,384	13	銚子	18,293,580
4	焼津	36,703,781	14	境港	17,980,082
5	根室	27,689,923	15	釧路	11,911,835
6	八戸	24,335,138	16	枕崎	11,492,650
7	下関	23,694,364	17	佐世保	11,131,938
8	松浦	22,384,306	18	塩釜	10,087,262
9	気仙沼	21,712,108	19	唐津	8,688,405
10	函館	20,025,947	20	房勝浦	5,638,776

(図 - 16) 平成17年 全国主要港水揚げ状況(金額)

(千円)



( 図-18 ) ロシア200海里水域における日本漁船の操業条件等

相互入漁

項 目	2005年分(H17)	2004年分(H16)	2003年分(H15)
さんま	34,500 トン	41,370 トン	41,370 トン
い か	9,145 トン	7,645 トン	7,192 トン
すけとうだら	4,704 トン	4,704 トン	4,704 トン
まだら	537 トン	537 トン	537 トン
かじか類	430 トン	393 トン	13 トン
かすべ	280 トン	250 トン	0 トン
かれい	61 トン	61 トン	61 トン
た こ	43 トン	43 トン	43 トン
こまい	0 トン	0 トン	0 トン
めぬけ	7 トン	7 トン	7 トン
かたくちいわし	100 トン	0 トン	0 トン
ほっけ・あいなめ類	373 トン	373 トン	373 トン
総漁獲割当量	50,180 トン	55,383 トン	54,300 トン

有償入漁

項 目	2005年分(H17)	追加枠	2004年分(H16)	追加枠	2003年分(H15)	追加枠
すけとうだら	3,200 トン	4,500 トン	3,200 トン	538 トン	3,200 トン	2,538 トン
まだら	190 トン		190 トン	10 トン	190 トン	50 トン
かれい	490 トン		490 トン	0 トン	490 トン	8 トン
めぬけ	104 トン		113 トン	30 トン	94 トン	90 トン
こまい	1,000 トン		1,000 トン	0 トン	1,000 トン	0 トン
きちじ	69 トン		60 トン	0 トン	109 トン	0 トン
い か	960 トン		960 トン	750 トン	1,000 トン	1,420 トン
かじか類	70 トン		70 トン	15 トン	0 トン	87 トン
た こ	50 トン		50 トン	0 トン	50 トン	0 トン
ほっけ・あいなめ類	320 トン		320 トン	37 トン	320 トン	197 トン
かすべ	20 トン		20 トン	0 トン	0 トン	0 トン
総漁獲割当量	6,473 トン	4,500 トン	6,473 トン	1,380 トン	6,453 トン	4,390 トン
見返り金	2.50億円	113.85万米ドル	2.45億円	総額23.61万米ドル	2.45億円	総額116万米ドル
総隻数	45隻	中層トロール5隻	45隻	トロール4 延縄1 いか10		中層及び着底 トロール5以内 底延縄8以内

協力費

協力費	総額355万ドル	総額380万ドル	総額370万ドル
-----	----------	----------	----------

(図 - 19) ロシアに対する漁獲割当量の推移(口日) (単位:トン)

	2003年	2004年	2005年
いわし及びさば	11,000	12,571	27,000
いとひきだら	26,500	26,850	12,000
さんま	16,800	15,962	11,180
その他	0	0	0
計	54,300	55,383	50,180

(図 - 20) 日ロサケ・マス交渉妥結内容

		2004年	2005年
ロシア200カイリ 水域内	漁獲割当量	7,210 トン	7,121 トン
	入漁料	292.51 円/kg	292.51 円/kg
日本200カイリ 水域内	漁獲割当量	3,660 トン	3,560 トン
	入漁料	5.48億円 ) 4.88億円	5.33億円 ) 4.74億円
		漁獲実績に応じて金額確定	

# 再捕報告へのご協力をお願いします！

釧路市漁協では、マツカワ、クロソイを標識放流しています。

再捕された方は以下の事項をご連絡願います（魚体は、いりません）。

標識番号 再捕年月日 再捕場所・水深 漁具・漁法 全長（できれば重量も）

再捕者の住所・氏名・電話番号

連絡先：釧路市漁業協同組合 指導部（釧路市浜町 3 - 12） 0154 - 22 - 5151

釧路水産試験場 資源増殖部（釧路市浜町 2 - 6） 0154 - 23 - 6221

釧路地区水産技術普及指導所（厚岸町若竹町 2 - 70 - 9） 0153 - 52 - 2003